

長崎大学教育学部学生への防災教育について

～ 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組 ～



グループによる防災マップづくりを行い、学生による成果発表、意見交換が行われている様子【長崎大学教育学部学生】

■目的

国土交通省では、近年多発する大規模災害を踏まえ、教育委員会・学校等と連携して防災教育の支援に係る取組を推進。

そこで、将来、教員を目指す長崎大学教育学部学生である約80人を対象に、防災・減災に関する知見・知識等を見につけてもらい、教員に就いた際、児童へ自然災害から命を守る術を伝えてもらう取組を実施。

■実施内容

○平成28年11月において、大学2年生を対象に4回（7日、14日、21日、28日）に分けて講義や防災マップづくりを実施。

■実施による成果（教授、学生の声）

※学生からのコメント

- ・今後に向けて非常にためになる授業で、将来、教師になって大きな災害に遭遇した時は状況に応じて対応しないといけないと感じた。
- ・4月の熊本地震で自然災害の怖さが見に染みた。子供たちがパニックにならないよう、冷静に避難させることができる先生になりたい。

※長崎大学教授からのコメント

・専門家の方の丁寧な講義を頂き、学生も防災教育の重要性を自覚し、安全に対する基本的な認識を深めたようです。学んだことを生かして防災マップ作りに取り組みましたが、学生独自の視点からの気付きもあり、実のある学習となっていました。

【第1回】防災教育の重要性を知ろう！

【NHK長崎で放映】

○学生に防災・減災に関する知見・知識等を身につけてもらうことで、教職に就いた際に、自然災害から命を守る術を子供達に伝え育ててもらうことを目的に実施。



教員を志す大学2年生を対象に防災講座を開催



【第2回】災害について学ぼう！

○第2回では、長崎河川国道事務所、雲仙復興事務所が講師となり「水防災」や「火山防災」の災害に関する知識等を身につけてもらう講義を実施。



「水防災」「火山防災」を解説する防災担当者



興味深く防災講座を受ける大学生

【第3回】まちを歩いて身近な災害を知ろう！（防災マップづくり）【KTN長崎で放映】

○第3回では、学生自ら大学周辺をまち歩きし、防災マップづくりを実践。自分で実体験することで、身近な災害や避難場所、また災害発生時の危険予見等を学習。



各班に分かれ大学周辺の危険を調べる



地域の避難所案内看板を確認

【第4回】成果発表を受けて防災教育を考えよう！

○最後となる第4回では、学生たちが完成させた防災マップについて発表会を開催し、自分たちで調べた避難場所、危険箇所などを話題に、意見交換が行われ、学生の防災意識の向上へと繋がり、将来、教員として防災教育の実践が期待される。

学生による防災マップづくり成果発表



大学生による手づくり防災マップが完成【事例】

